

『BIMtoVR サービス』を開始 お客様現場の足場 BIM を VR 化し、足場施工検討と安全教育に活用へ

2026年4月8日
株式会社 杉孝

仮設機材レンタル事業を行う株式会社 杉孝（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：杉山 亮）は、2026年4月1日(水)より「BIMtoVR サービス」というサービスの提供を開始しました。当サービスによって、BIMで作成した図面をVR化（3D空間化）しVR上で①足場施工に関する検討や②安全活動に役立てていただくことが可能になり、BIMの活用方法が拡大します。

① 足場施工に関する検討のためのサービス活用方法

SUGIKOはBIM図面を納品した全現場に「BIMサポーター」を派遣し、「足場施工BIM検討会（お客様・篤職人・BIMサポーターが施工前に集まり行う足場の検討会）」にて画面上で図面を確認し、現場でのBIM活用と最適な足場施工を支援しています。今後はその検討会にて、希望されたお客様に対し「BIMtoVR」のサービスを提供し、組立予定の足場をVRでご確認いただけるようになります。より直感的・視覚的に現場を巡視することが可能になるため、「暗そうだから照明を追加しよう」「無理な体勢になりそうだから足場の形状を変更しよう」「躯体まで手が届かなさそうだから足場の形状を変更しよう」と不安全箇所や躯体と足場の不具合箇所をより発見しやすくなり、現場の安全と効率を後押しします。

② 安全のためのサービス活用方法

SUGIKOは以前より、足場安全コンサルティング活動の一環としてVRを活用した教育コンテンツを提供してきましたが、お客様より実際の現場と同様の足場からの墜落体感や災害体感をしたいとご要望をいただきました。今後「BIMtoVR サービス」を活用いただくことで、これまで提供してきた仮想の構造物上でのシミュレーションとは異なり、特殊な現場や業種に特化したお客様オリジナルのVR安全教育の提供が可能になります。トライアルの段階でお客様から「初めて炉内足場の様子を理解することができた」「災害発生時の現場の様子を知ることができた」と評価いただきました。

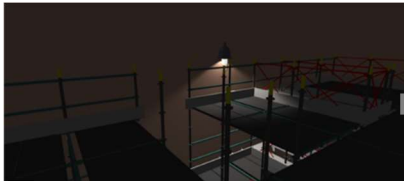
①②ともに、サービスの納品方法は、SUGIKOスタッフがVRゴーグル等の必要機器を持参してお客様ご指定の場所で体験を提供する方法と、SUGIKOスタッフがVR空間を一周した動画を提供する方法の2種類から選択可能です。

SUGIKOはBIMの活用によって業界全体がより安全で効率的な現場を実現できると信じ、BIMの新しい活用方法を模索しています。「BIMtoVR サービス」によって、従来のBIMでは成しえなかったことを可能にすることで、より幅広いお客様に対しBIMの可能性や活用の幅を広げ、現場の安全と効率に寄与します。

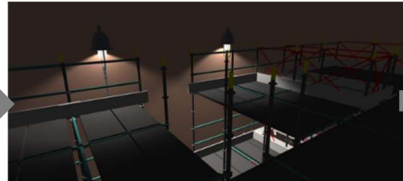
<足場施工 BIM 検討会にて BIMtoVR サービスをご活用いただいた様子>



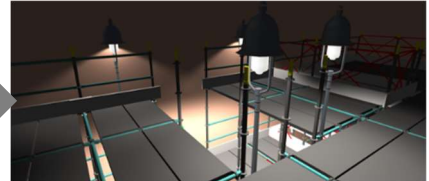
現場が暗く、作業しにくいことが判明したら・・・



照明を 1 つ設置



照明を 2 つ設置



照明を 4 つ設置

⇒最適な照度の検討ができ、現場の安全作業につながる

BIMtoVR サービス概要

機能：BIM で作成した図面を、専用ソフトを使用して VR に変換することで BIM 図面を 3D 空間化する

VR 空間に追加可能な要素の例：照度調整・音声や動画の挿入・掲示物の設置等

VR 空間に追加可能な体験の例：墜落体感・寸法計測・オブジェクト(照明等)の操作等

同時実施可能人数：①②ともに 1 人ずつ ※実施者の視界をミラーリングして参加者全員でご確認いただけます

使用機器：Meta Quest2

(このプレスリリースに関するお問い合わせ)

株式会社杉孝 総務課 広報担当：福家（ふけ）・豊田（とよた）

TEL:[045-444-0835](tel:045-444-0835) MAIL:soumu@sugiko.co.jp